

■ 授業の方針(DNA からどのようにタンパク質が合成されるか)

1. まずはおおざっぱに全体の流れを学習します。
2. 次に詳細な合成の仕組みを学習します。
3. 最後にシミュレーション動画を自分の言葉で説明できるようにします。

授業データ (PDF)

2 年 組 席

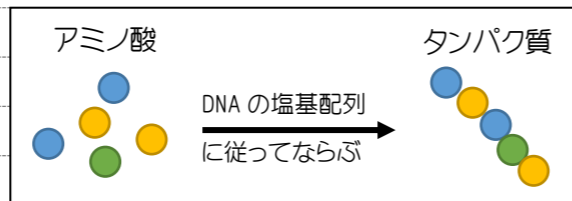
No.8 提出印

2 章

◇ 準備

(1)

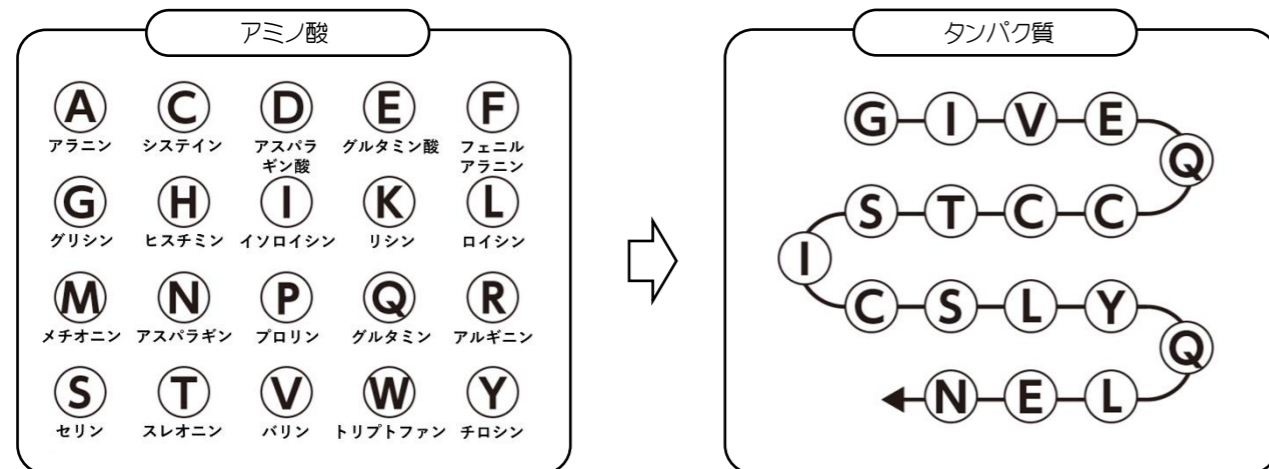
① タンパク質の例



		抗体		
化学変化を促進させる物質。	() の成分。() を運ぶ。	免疫反応の抗体として働く。	皮ふに多く含まれ、組織の構造を維持する。	筋繊維をつくる。

②

③ タンパク質を構成するアミノ酸の種類 = 種類



■ 演習(ワークP.40 49)

(1) 5 個のアミノ酸をつなげる場合、何通りの組み合わせが考えられるか。ただし、アミノ酸の鎖には方向性があるため、A-C-DとD-C-Aは別の組み合わせとして数えること。なお、A-A-Aのように同じアミノ酸を重複してもよい。

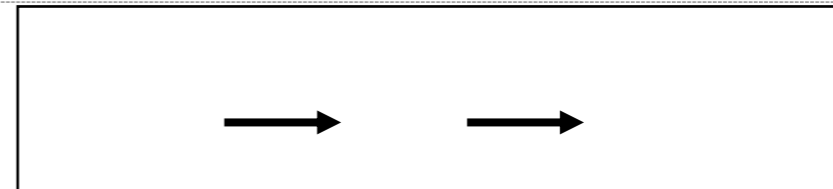
(計算・解説スペース)

() 通り

1

= 遺伝情報をもとにして、

(1)



※ RNAとDNAの違い

	DNA ()	RNA ()
ヌクレオチド (基本単位)		
構造	() 本鎖 = 二重らせん構造 	() 本鎖
DNA の塩基と相補的な RNA の塩基	A () ← → () T () ← → A () G () ← → C () C () ← → G ()	

①

